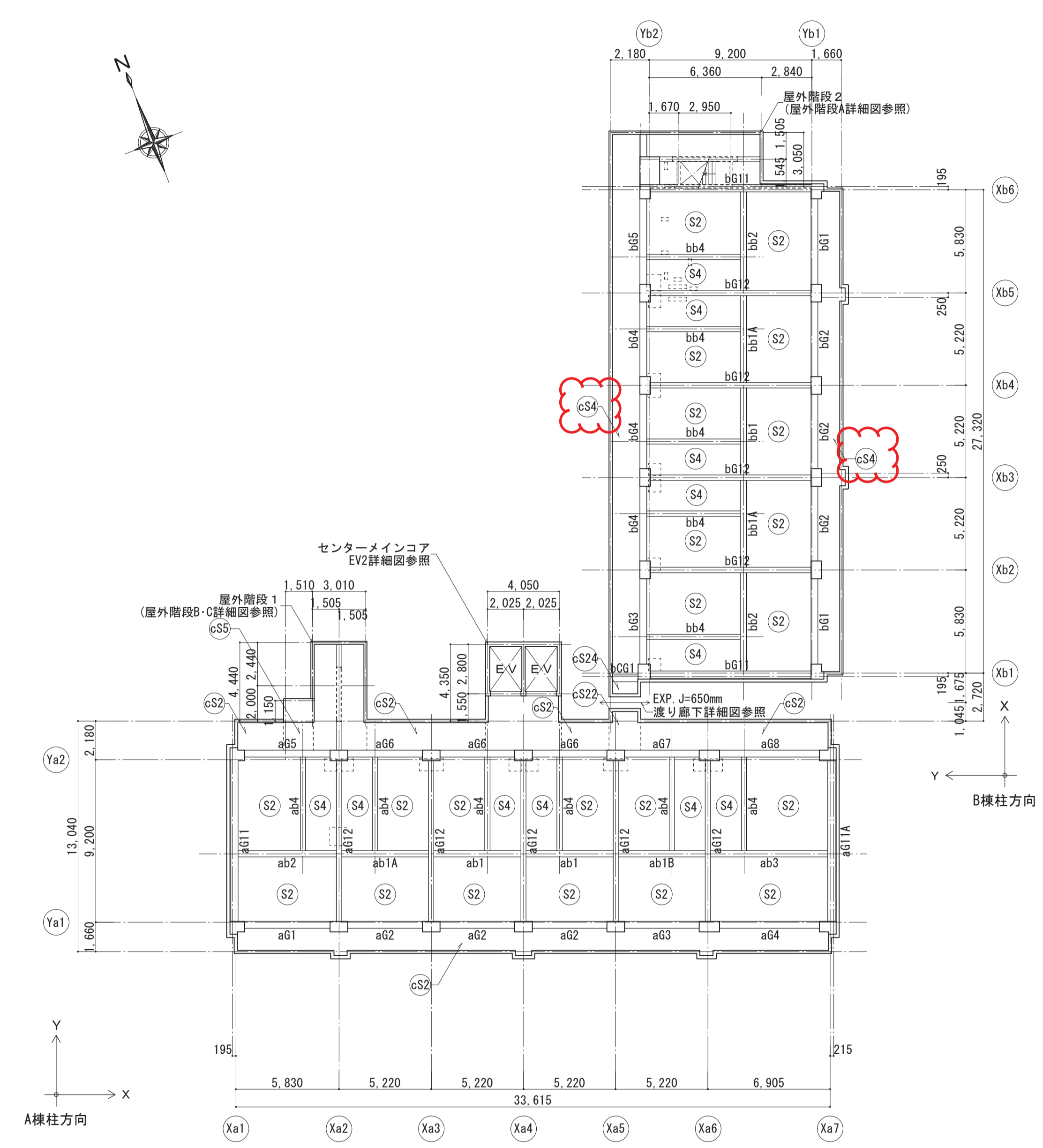


令和元年10月1日 公告  
「豊崎第2住宅1号館建設工事」

○設計図書等の一部に表記誤りがありました。再度ご確認ください。

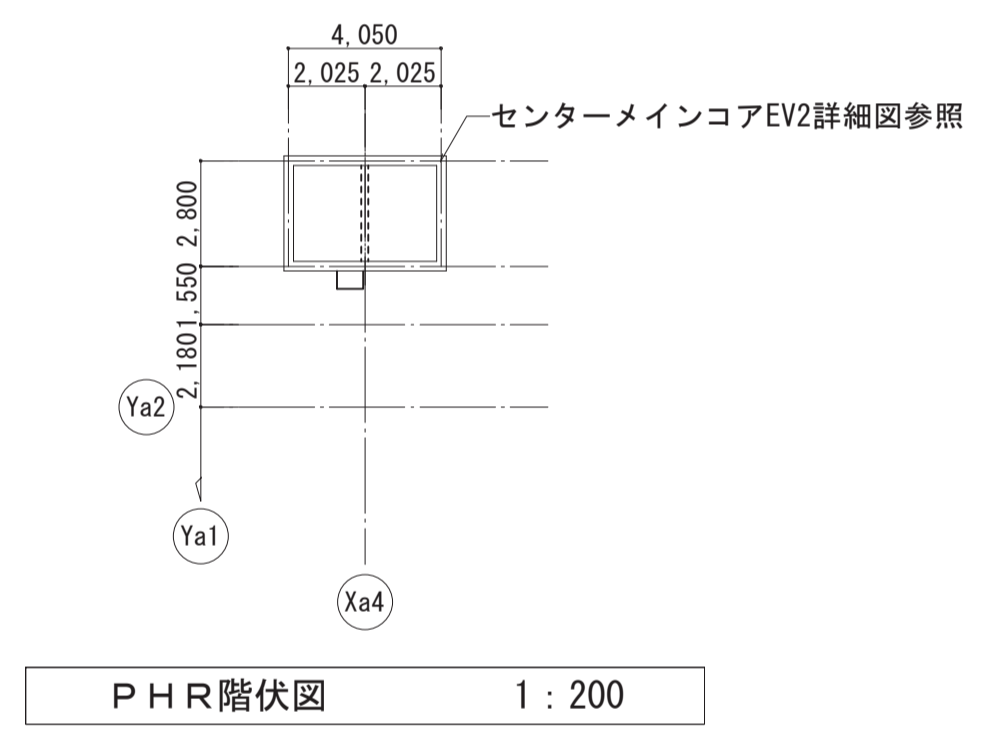
修正箇所	誤	正
図面番号 207 図面名称：伏図（4） 符号の修正	図面のとおり	図面のとおり
図面番号 210 図面名称：軸組図（3） 符号の修正	図面のとおり	図面のとおり
図面番号 213 図面名称：基礎・基礎梁リスト（2） 符号の修正	図面のとおり	図面のとおり
図面番号 230 図面名称：渡り廊下詳細図 符号の修正	図面のとおり	図面のとおり



R階伏図 1:200

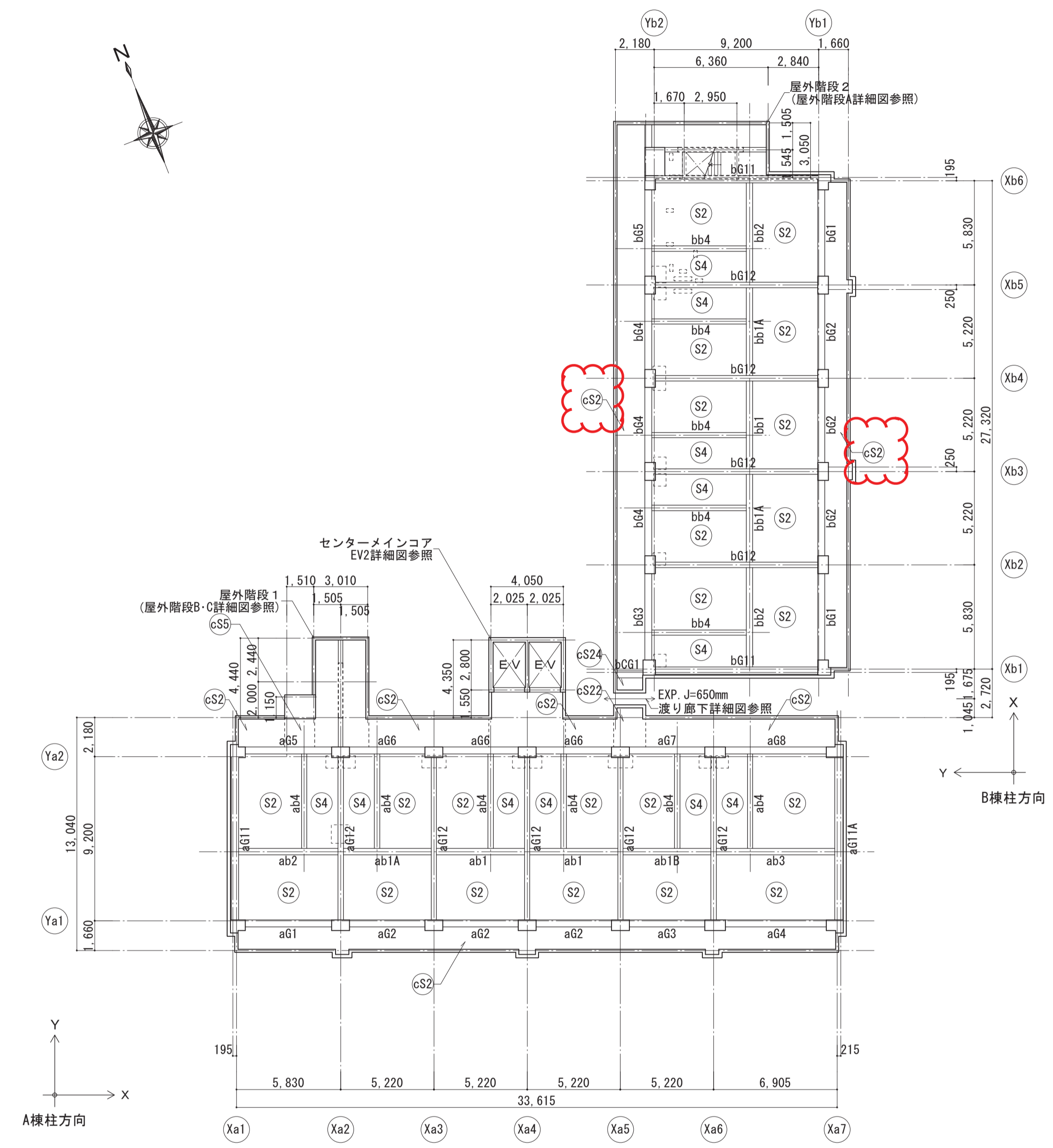
註) 特記なき限り下記による  
 ・梁天端レベルは、ZR±0とする。

伏図共通事項  
 註) 特記なき限り下記による  
 ・廊下・バルコニー側壁はW12とし、壁配筋詳細図参照。  
 ・大梁レベルは軸組図参照。  
 ・床版レベルはZn±0とする。  
 ・ は、増打を示す。




P H R階伏図 1:200

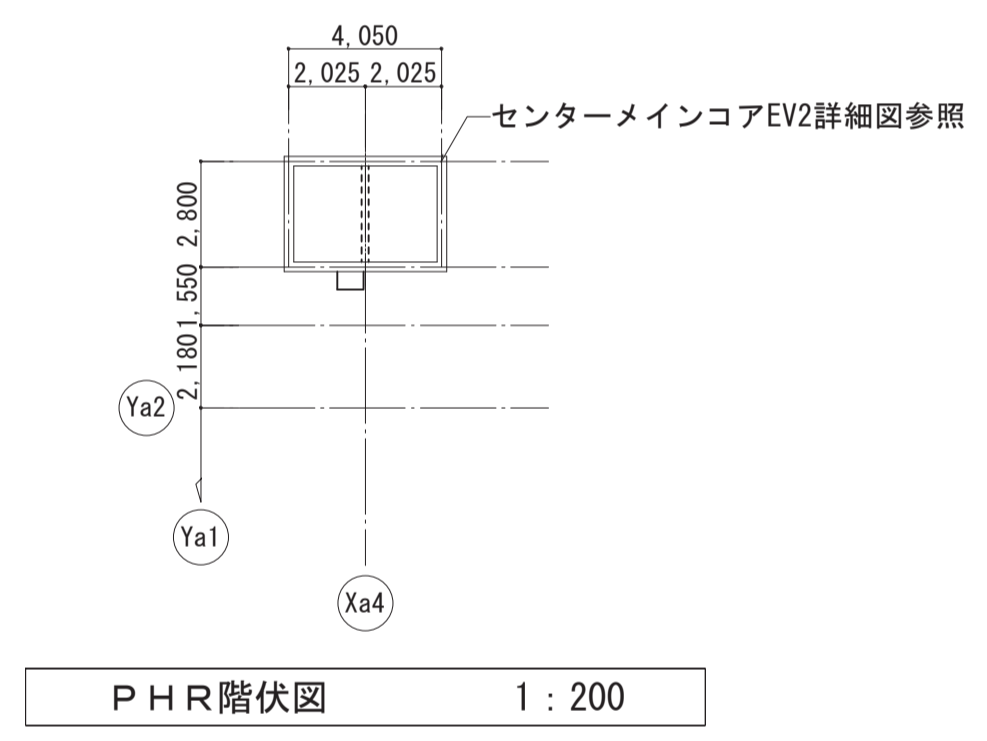
名称	豊崎第2住宅1号館建設工事	図面サイズ	A1
図面名称	伏図(4)	製図	令和元年5月
縮尺	1:200	図面番号	No. 207 (枚の内)
設計者	大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)	設計事務所	株式会社 日総建 大阪事務所



R階伏図 1:200

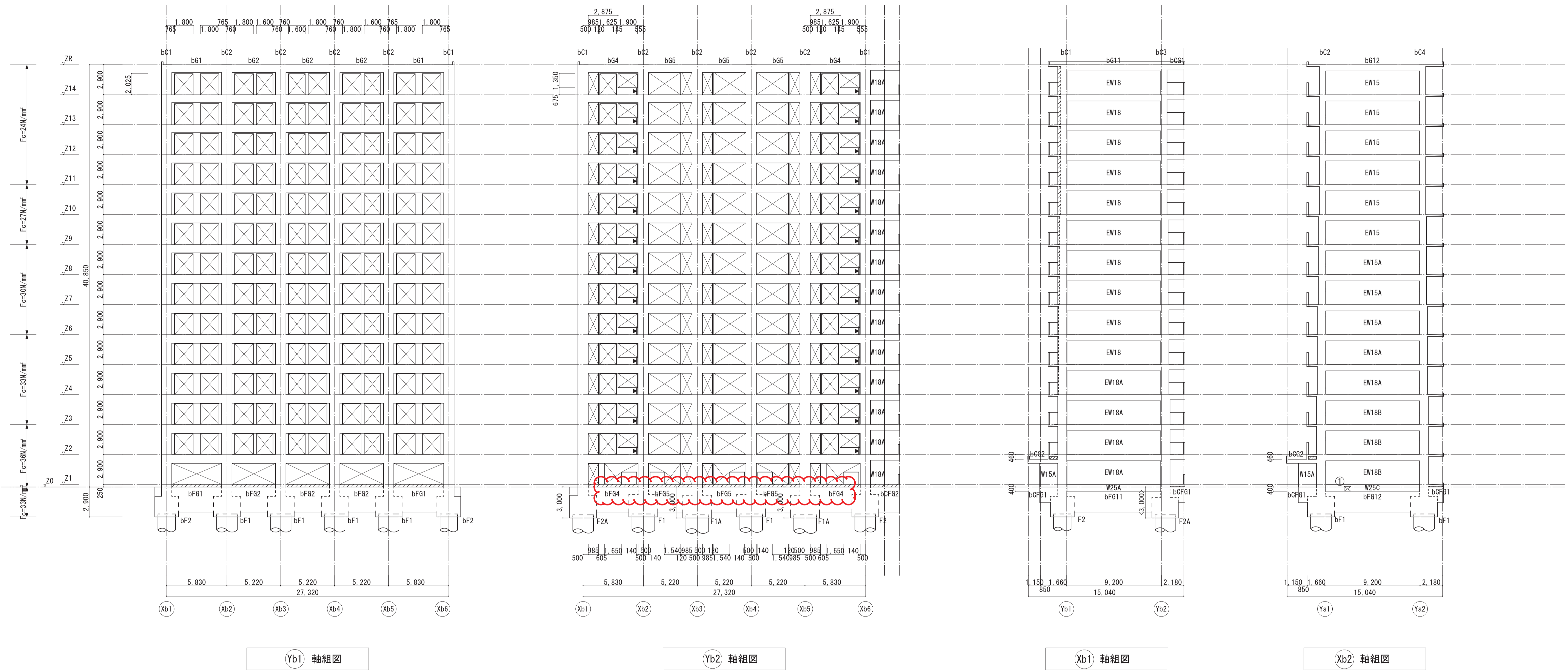
註) 特記なき限り下記による  
 ・ 梁天端レベルは、ZR±0とする。

伏図共通事項  
 註) 特記なき限り下記による  
 ・ 廊下・バルコニー側壁はW12とし、壁配筋詳細図参照。  
 ・ 大梁レベルは軸組図参照。  
 ・ 床版レベルはZn±0とする。  
 ・  は、増打を示す。



P H R階伏図 1:200

名称	豊崎第2住宅1号館建設工事	製図	令和元年5月
図面名称	伏図(4)	製図	令和元年5月
縮尺	1:200	図面番号	No. 207 (枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 日総建 大阪事務所	



軸組図 (3) 1/200

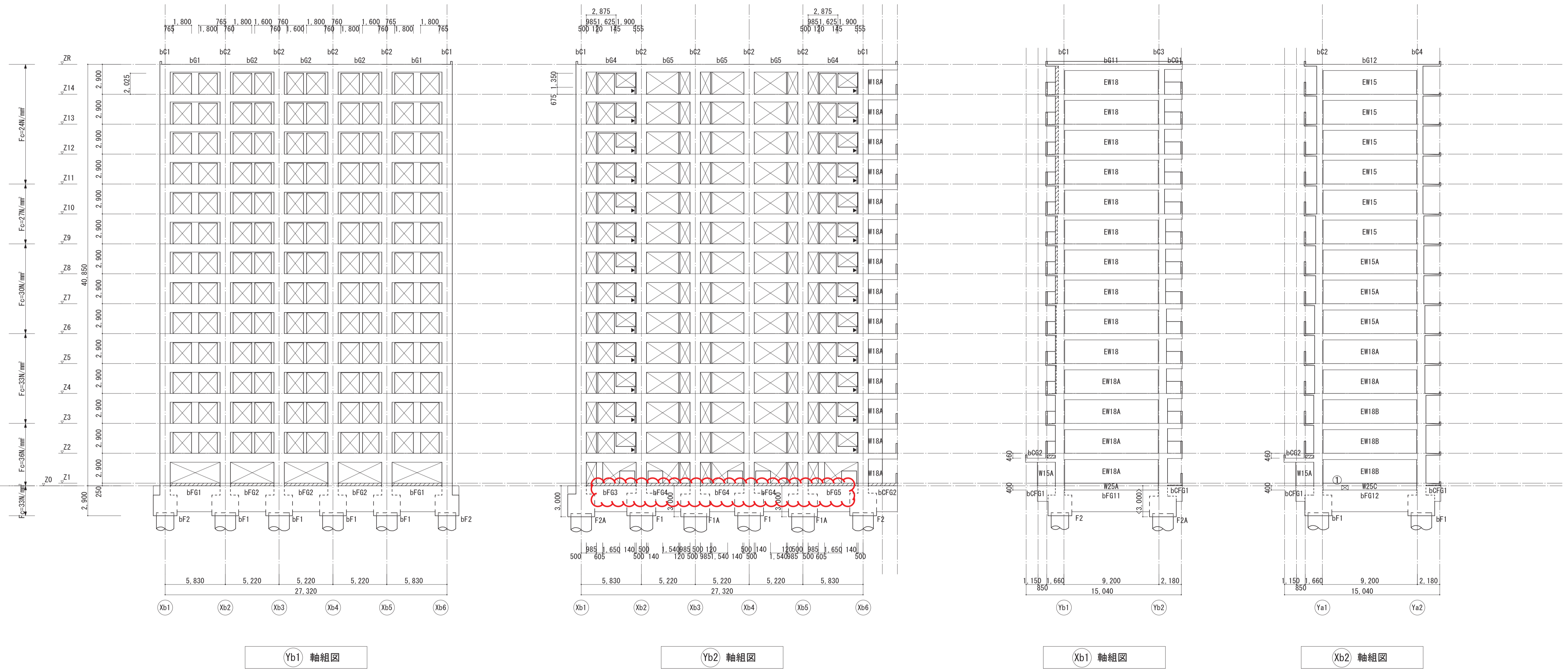
耐震壁の開口寸法及び開口補強筋

符号	幅×高さ	縦筋	横筋	斜筋
①	600×450	4-D19	—	—

※開口位置は意匠図による。

- 軸組図共通事項
- 注) 特記なき限り下記による
- ・壁はW12とする。
  - ・▶は耐震スリットを示し、詳細図は建築図参照。
  - ・桁行方向基礎梁天端は、Z0±0 (Z1までは増打とする)
  - ・梁間方向基礎梁天端は、Z0-400
  - ・斜線は、増打を示す。
  - ・Z0のコンクリート強度の区分については、RC配筋標準図を参照。

名称	豊崎第2住宅1号館建設工事			原寸図紙サイズ
図面名称	軸組図 (3)			A 1
縮尺	1:200	製図	令和元年5月	
		図面番号	No. 210 (枚の内)	
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)			株式会社 日総建 大阪事務所	



耐震壁の開口寸法及び開口補強筋

符号	幅×高さ	縦筋	横筋	斜筋
①	600×450	4-D19	—	—

※開口位置は意匠図による。

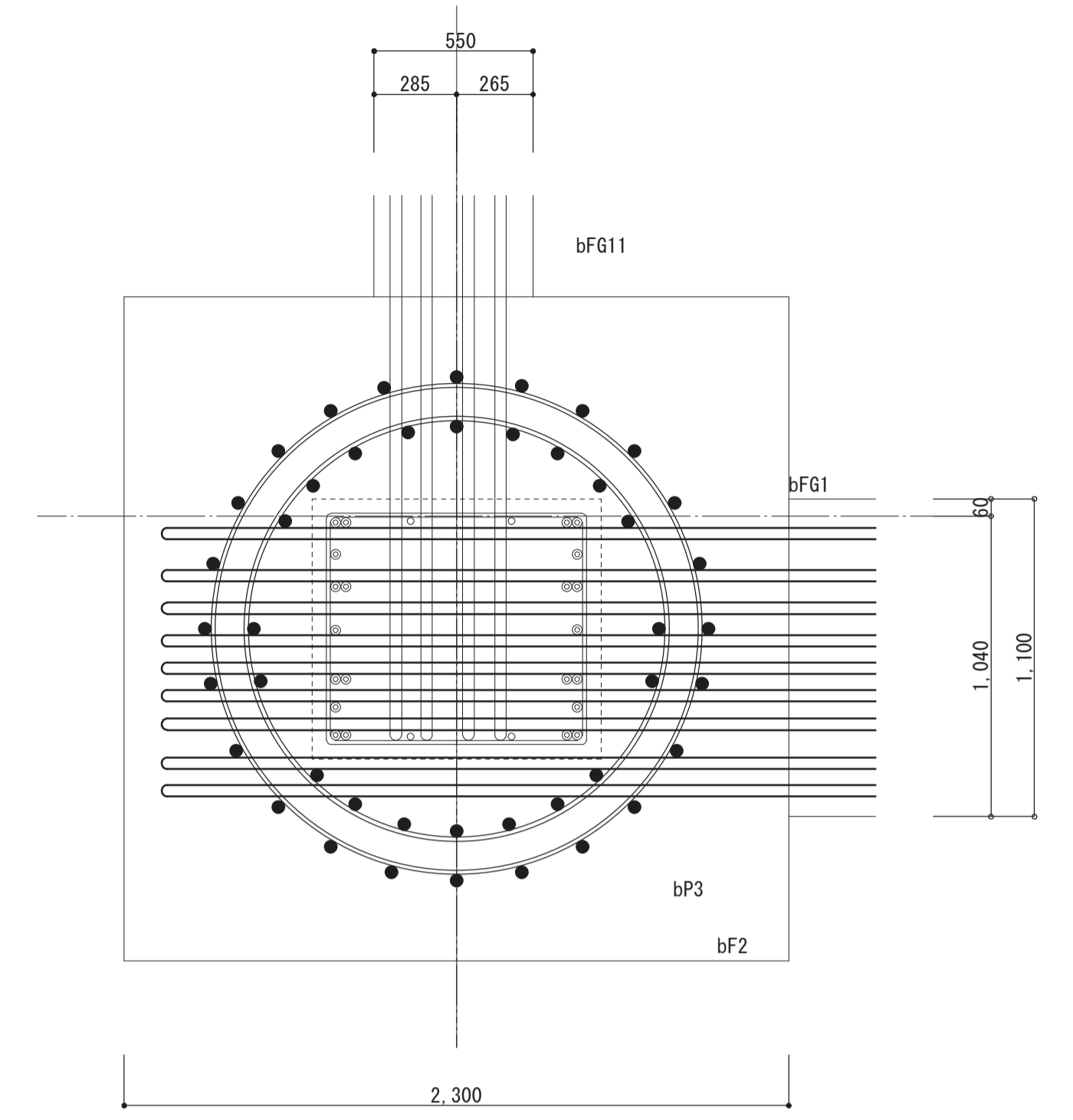
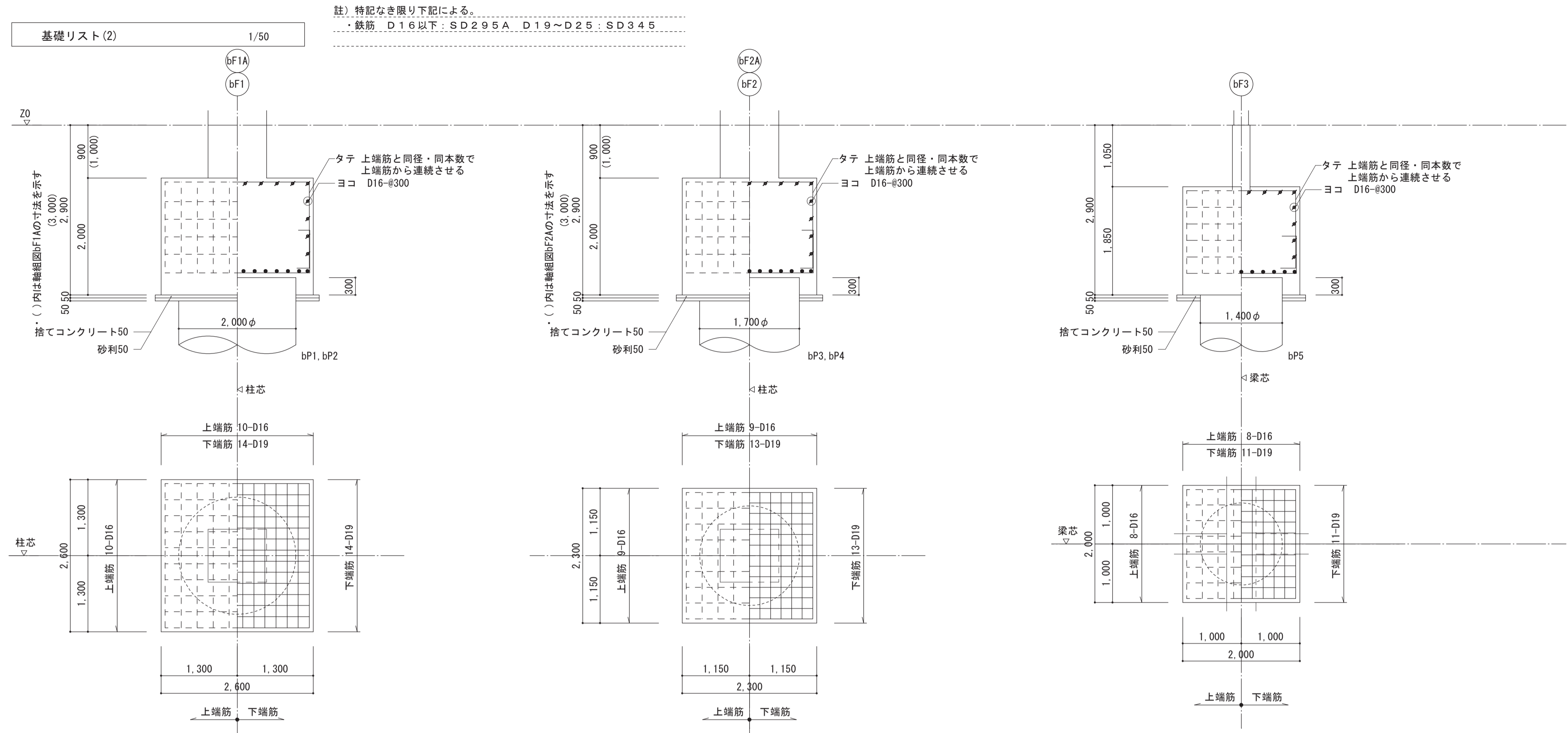
軸組図 (3) 1/200

軸組図共通事項

註) 特記なき限り下記による

- ・壁はW12とする。
- ・▶は耐震スリットを示し、詳細図は建築図参照。
- ・桁行方向基礎梁天端は、Z0±0 (Z1までは増打とする)
- ・梁間方向基礎梁天端は、Z0-400
- ・斜線は、増打を示す。
- ・Z0のコンクリート強度の区分については、RC配筋標準図を参照。

名称	豊崎第2住宅1号館建設工事			図中実線サイズ
図面名称	軸組図 (3)			A1
縮尺	1:200			
製図	令和元年5月	図面番号	No. 210 (枚の内)	
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)			株式会社 日総建 大阪事務所	



基礎梁リスト(2) 1/50

註) 特記なき限り下記による。  
 ・鉄筋 D16以下: SD295A, D19~D25: SD345  
 ・D29以上: SD390  
 ・巾止筋はD1.0@1,000とする。

符号	bFG1	bFG2, bFG4	bFG3	bFG4, bFG8	bFG11	bFG12	bCFG1	bCFG2
位置	(b1)(b6) 通側端部 中央 (b2)(b) 割端部	両端 中央	(b) 通側端部 中央 (b2) 通側端部 中央 (b5) 通側端部 (b6) 通側端部	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面								
B x D	1100x2500	700 x 2500	1100x2500	1100x2500	550x2100	700 x 2100	350 x 1500	1100x2500
上端筋	17 - D 35 13 - D 35	11 - D 35 7 - D 35	17 - D 35 13 - D 35	13 - D 35 17 - D 35	8 - D 35	12 - D 35	3 - D 25	9 - D 32
下端筋	17 - D 35 13 - D 35	11 - D 35 7 - D 35	17 - D 35 13 - D 35	13 - D 35 17 - D 35	8 - D 35	12 - D 35	3 - D 25	9 - D 32
あばら筋	□ - D 16-@100	□ - D 16-@100	□ - D 16-@100	□ - D 16-@100	□ - D 13-@200	□ - D 13-@150	□ - D 13 @200	□ - D 16 @150
腹筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	6-D13	6-D13	4-D13	-

符号	bFb1	Fb2	Fb2A
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
B x D	350 x 700	350 x 2050	500 x 2050
上端筋	3 - D 22	3 - D 25	8 - D 32
下端筋	3 - D 22	3 - D 25	8 - D 32
あばら筋	□ - D 10 @200	□ - D 13 @200	□ - D 13 @200
腹筋	2-D13	6-D13	6-D13

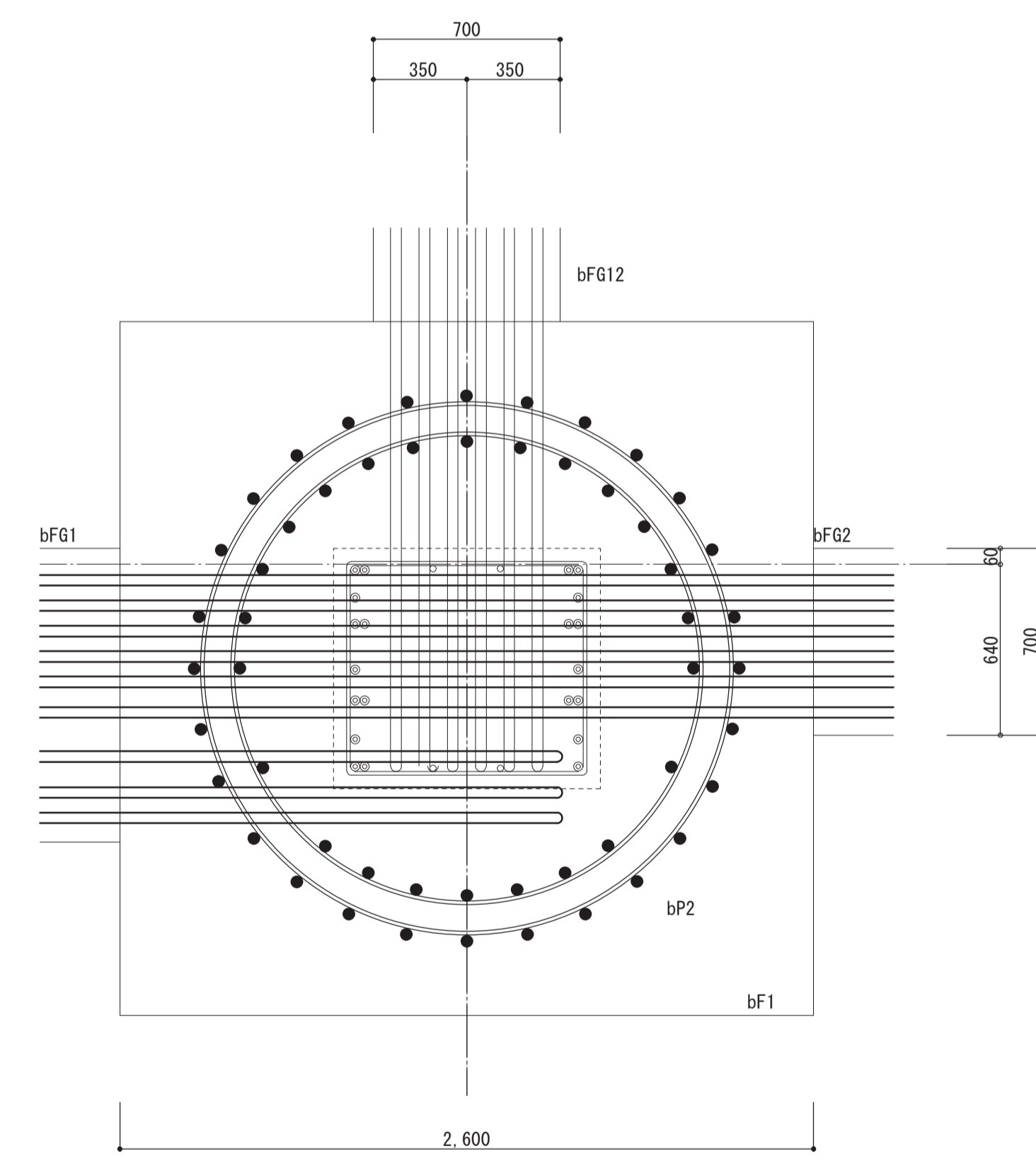
基礎梁幅が柱幅より大きい場合の柱・基礎梁接合部の補強要領

梁

柱

梁

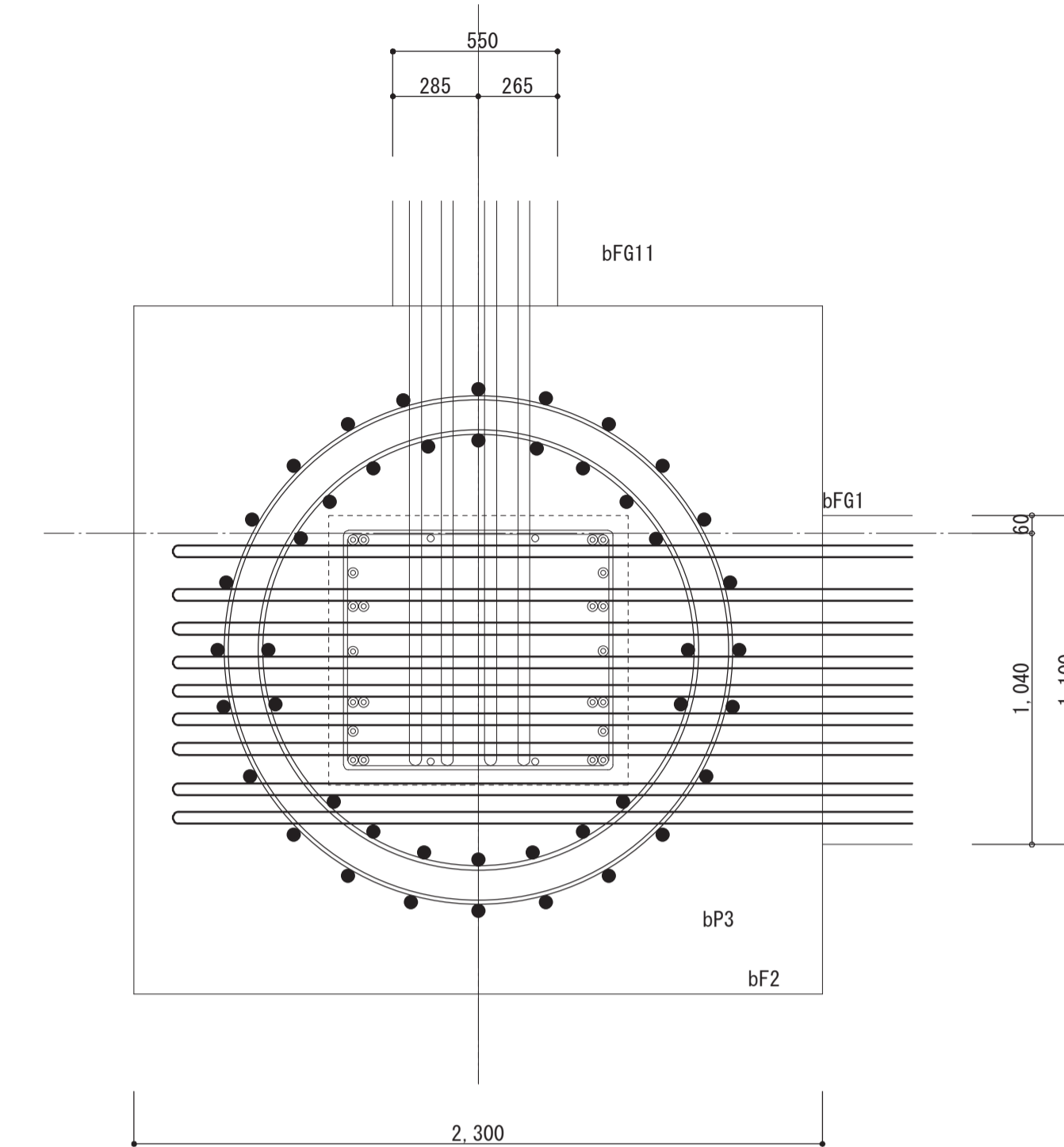
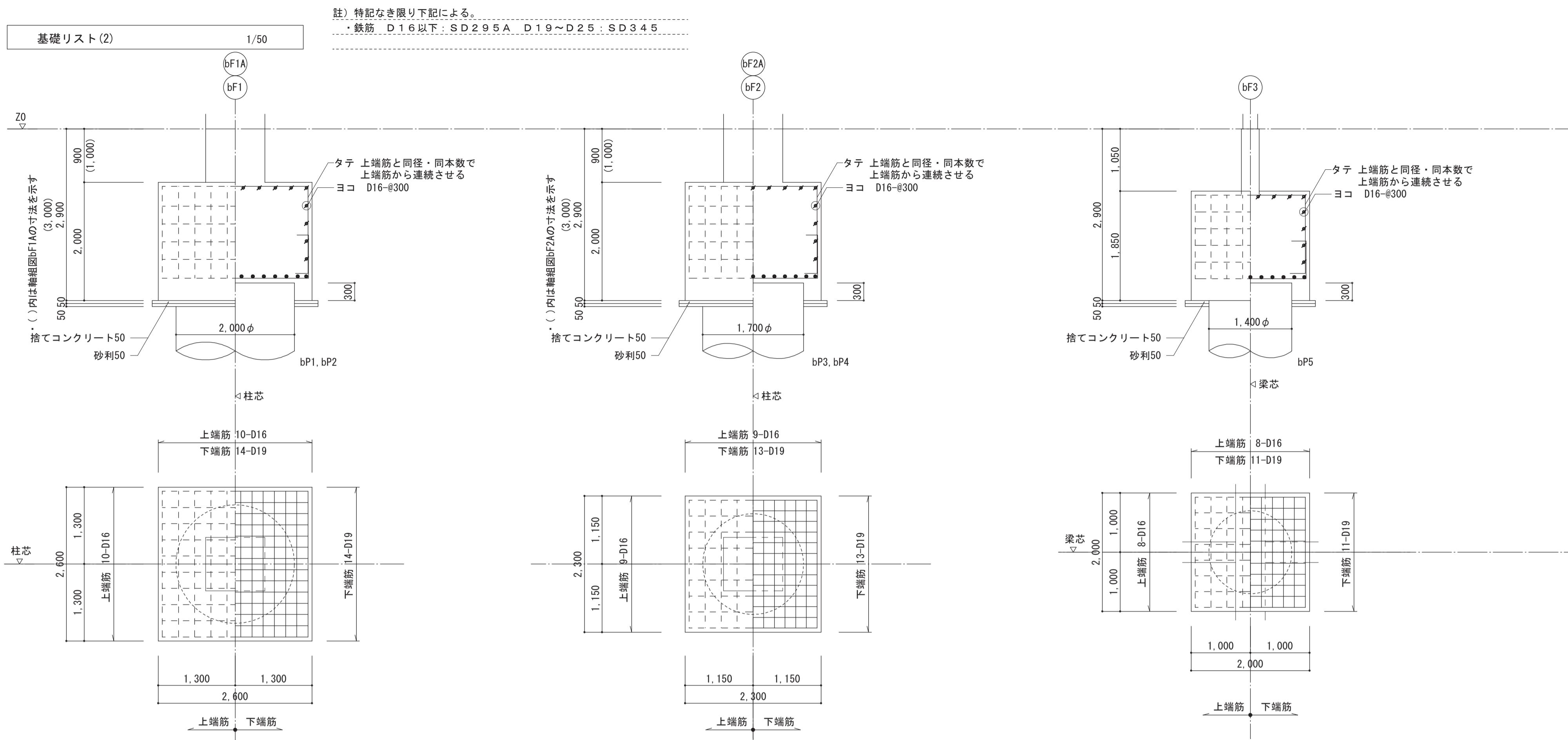
仕口帯筋と同材質・同径・同間隔とする



納まり要領図 1/20

註) 杭・基礎梁・柱主筋の納まりは施工図にて十分検討の上、監督員の承認を得ること。

名称	豊崎第2住宅1号館建設工事	原図番	サイズ
図面名称	基礎・基礎梁リスト(2)	製図	令和元年5月
縮尺	1:50	図面番号	N0.213(枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		設計事務所	株式会社 日総建 大阪事務所



基礎梁リスト(2) 1/50

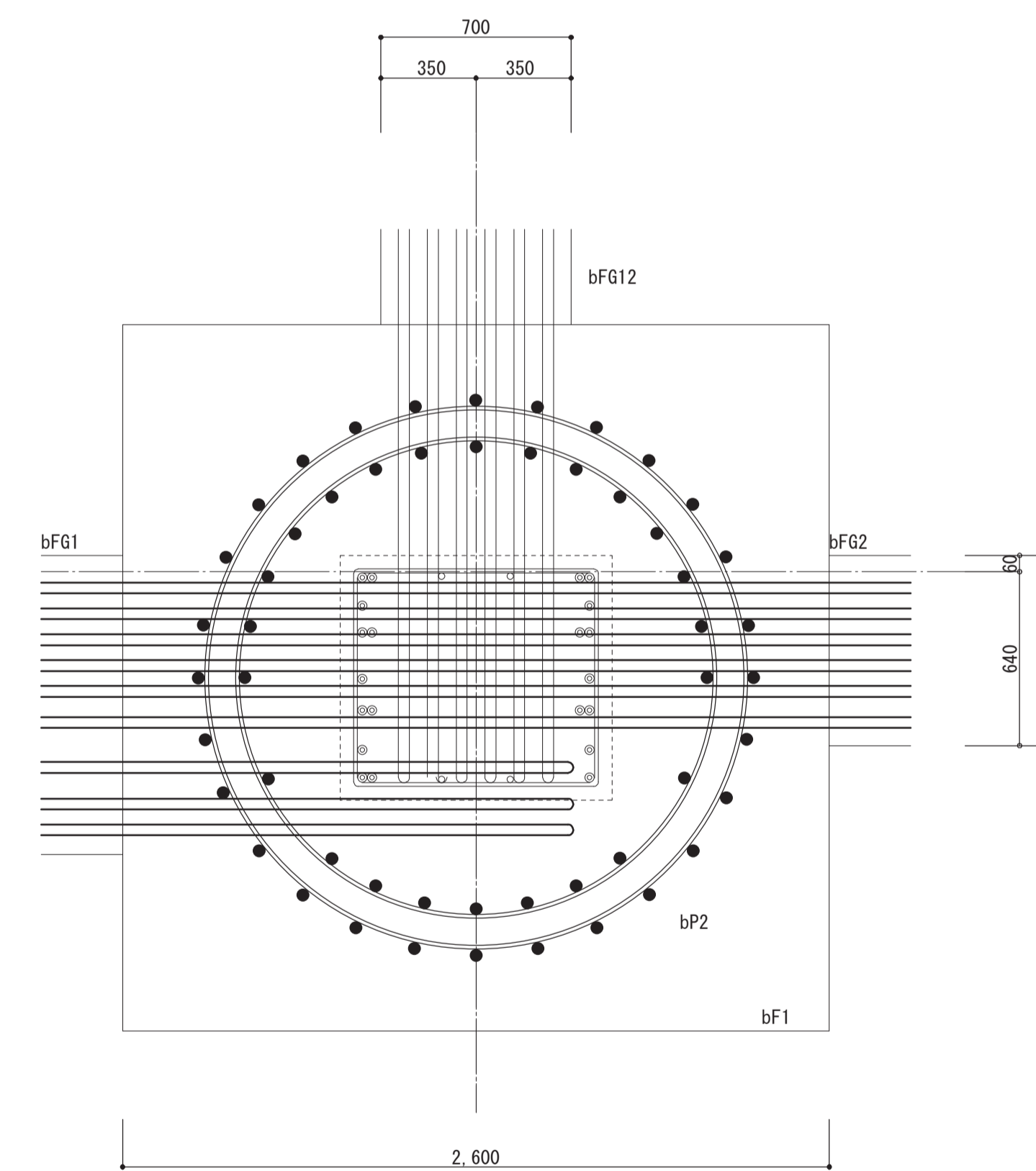
注) 特記なき限り下記による。  
 ・鉄筋 D16以下: S D 2.9 5 A, D 19~D 2.5: S D 3.4 5  
 ・D 2.9以上: S D 3.9 0  
 ・巾止筋はD10@1,000とする。

符号	bFG1	bFG2, bFG4	bFG3	bFG5	bFG11	bFG12	bCFG1	bCFG2
位置	(b1)(b6) 通側端部 中央 (b2)(b) 側端部	両端 中央	(b1) 通側端部 中央 (b2) 通側端部 中央 (b5) 通側端部 (b6) 通側端部		全断面	全断面	全断面	全断面
断面								
B x D	1100x2500	700 x 2500	1100x2500	1100x2500	550x2100	700 x 2100	350 x 1500	1100x2500
上端筋	17 - D 35 13 - D 35	11 - D 35 7 - D 35	17 - D 35 13 - D 35	13 - D 35 17 - D 35	8 - D 35	12 - D 35	3 - D 25	9 - D 32
下端筋	17 - D 35 13 - D 35	11 - D 35 7 - D 35	17 - D 35 13 - D 35	13 - D 35 17 - D 35	8 - D 35	12 - D 35	3 - D 25	9 - D 32
あばら筋	□ - D 16-@100	□ - D 16-@100	□ - D 16-@100	□ - D 16-@100	□ - D 13-@200	□ - D 13-@150	□ - D 13 @200	□ - D 16 @150
腹筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	6-D13	6-D13	4-D13	-

符号	bFb1	Fb2	Fb2A
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
B x D	350 x 700	350 x 2050	500 x 2050
上端筋	3 - D 22	3 - D 25	8 - D 32
下端筋	3 - D 22	3 - D 25	8 - D 32
あばら筋	□ - D 10 @200	□ - D 13 @200	□ - D 13 @200
腹筋	2-D13	6-D13	6-D13

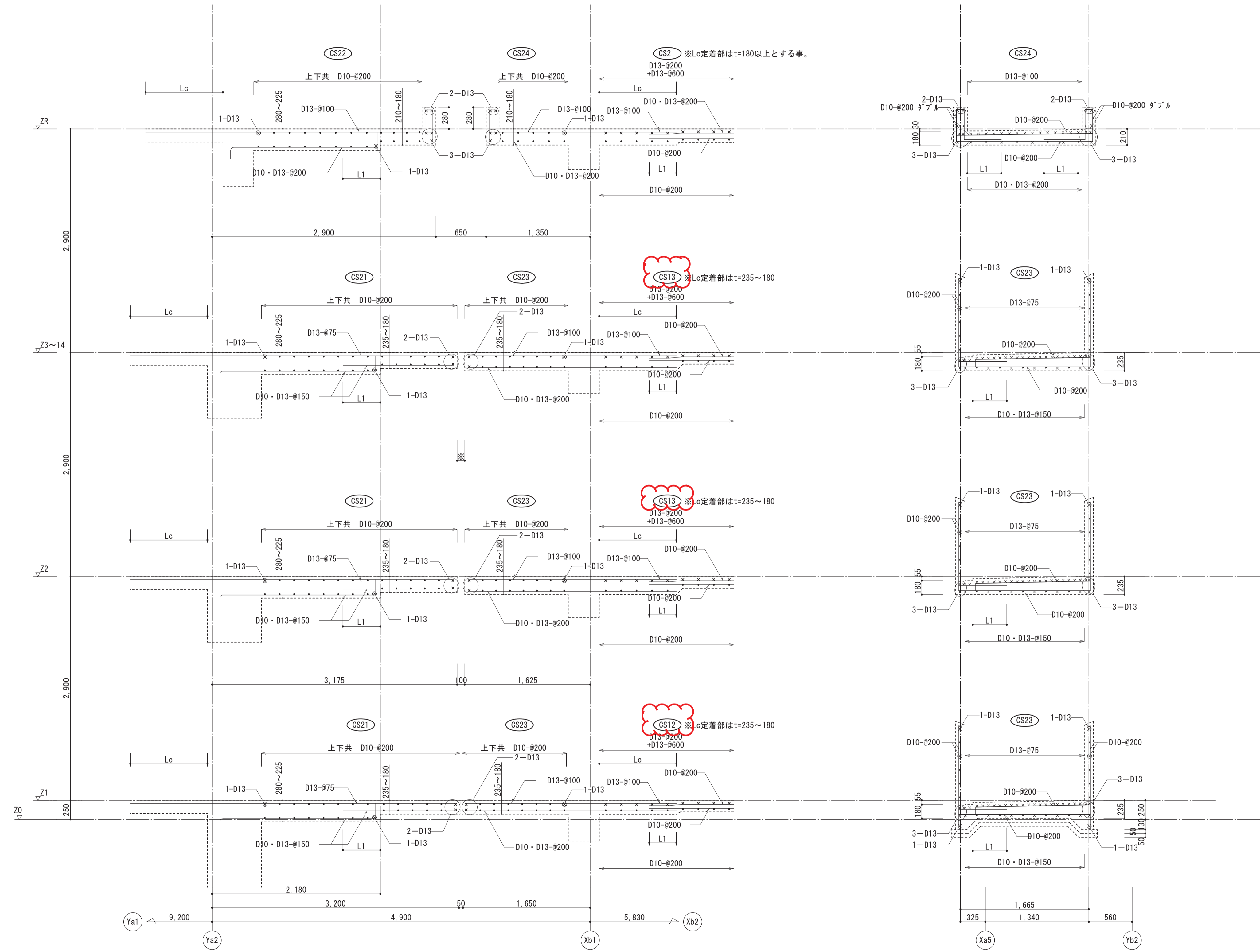
基礎梁幅が柱幅より大きい場合の柱・基礎梁接合部の補強要領



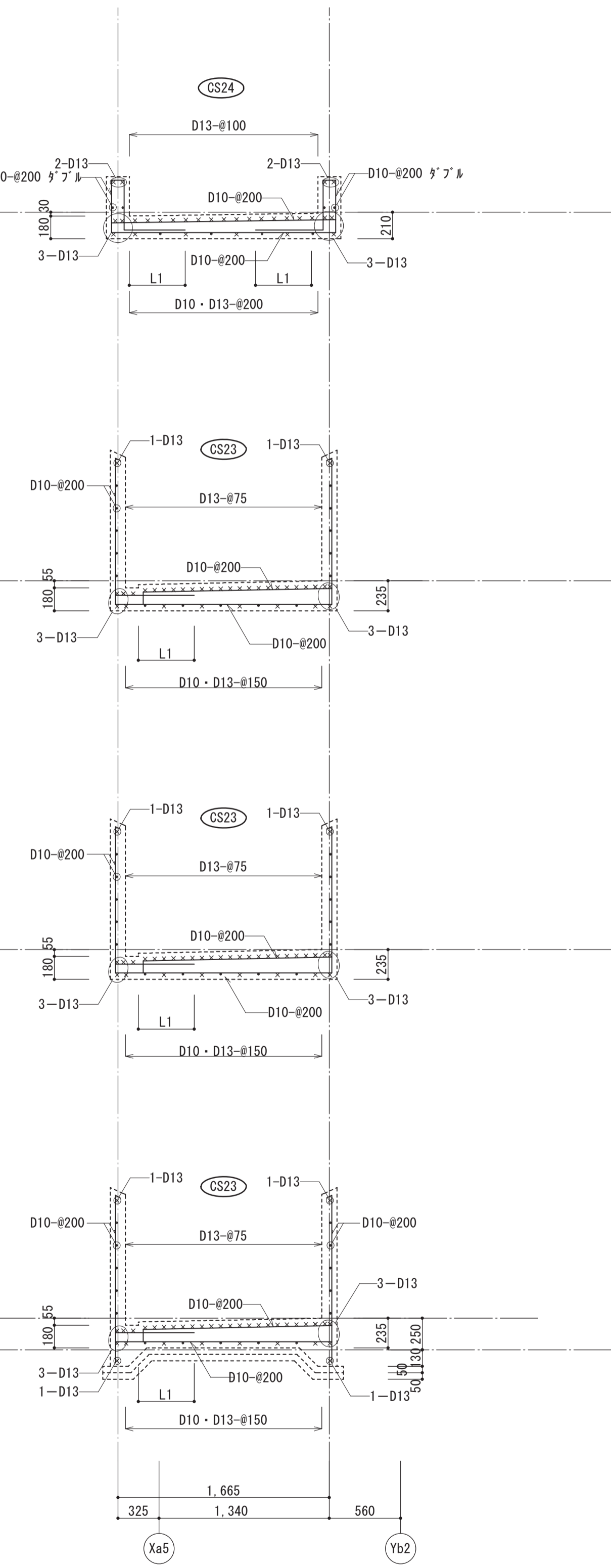
納まり要領図 1/20

注) 杭・基礎梁・柱主筋の納まりは施工図にて十分検討の上、監督員の承認を得ること。

名称	豊崎第2住宅1号館建設工事	製図	令和元年5月
図面名称	基礎・基礎梁リスト(2)	図面番号	No. 213 (枚の内)
縮尺	1:50	設計事務所	株式会社 日総建 大阪事務所
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)			



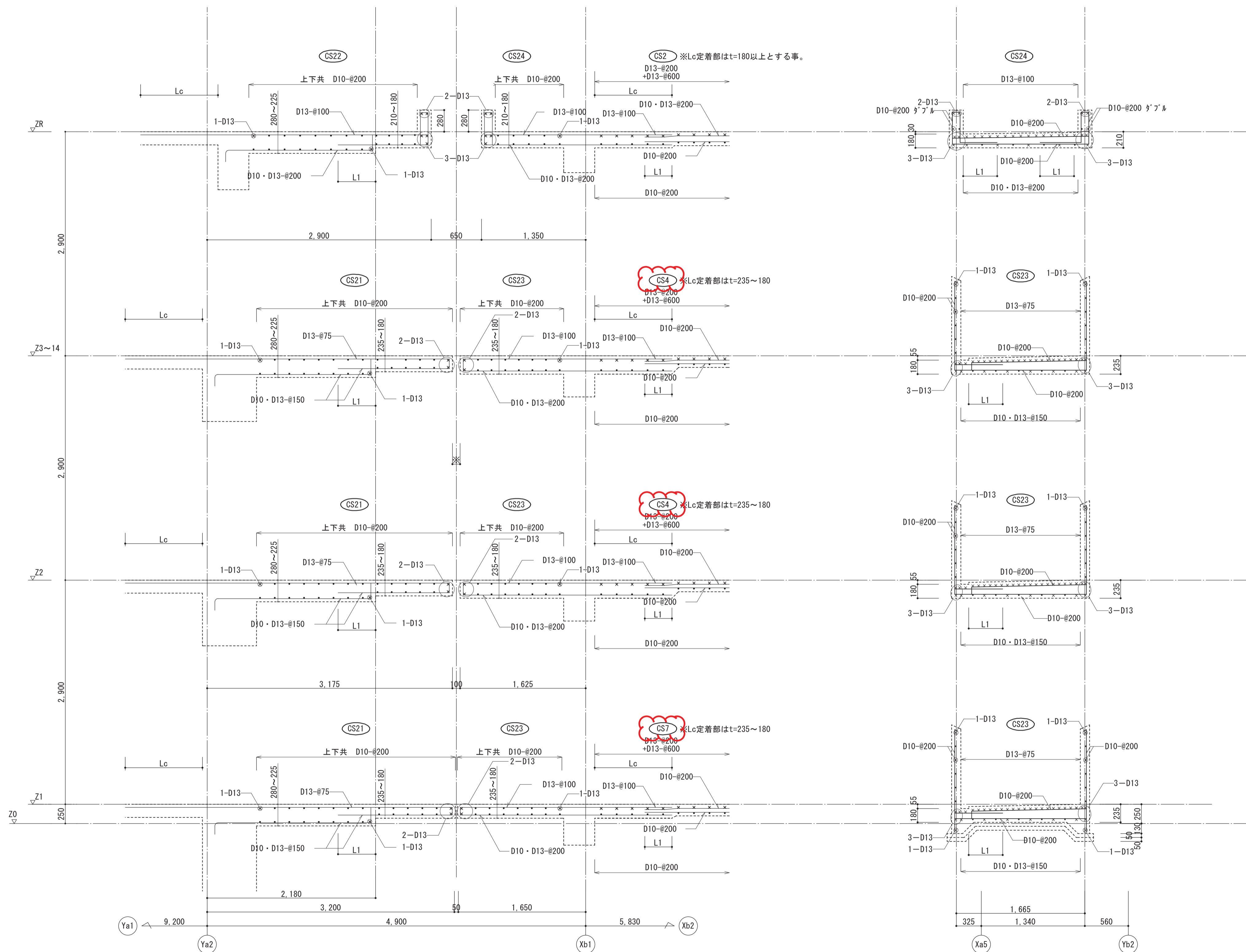
註)・Lcは1,000かつLx/4+15d以上とする。



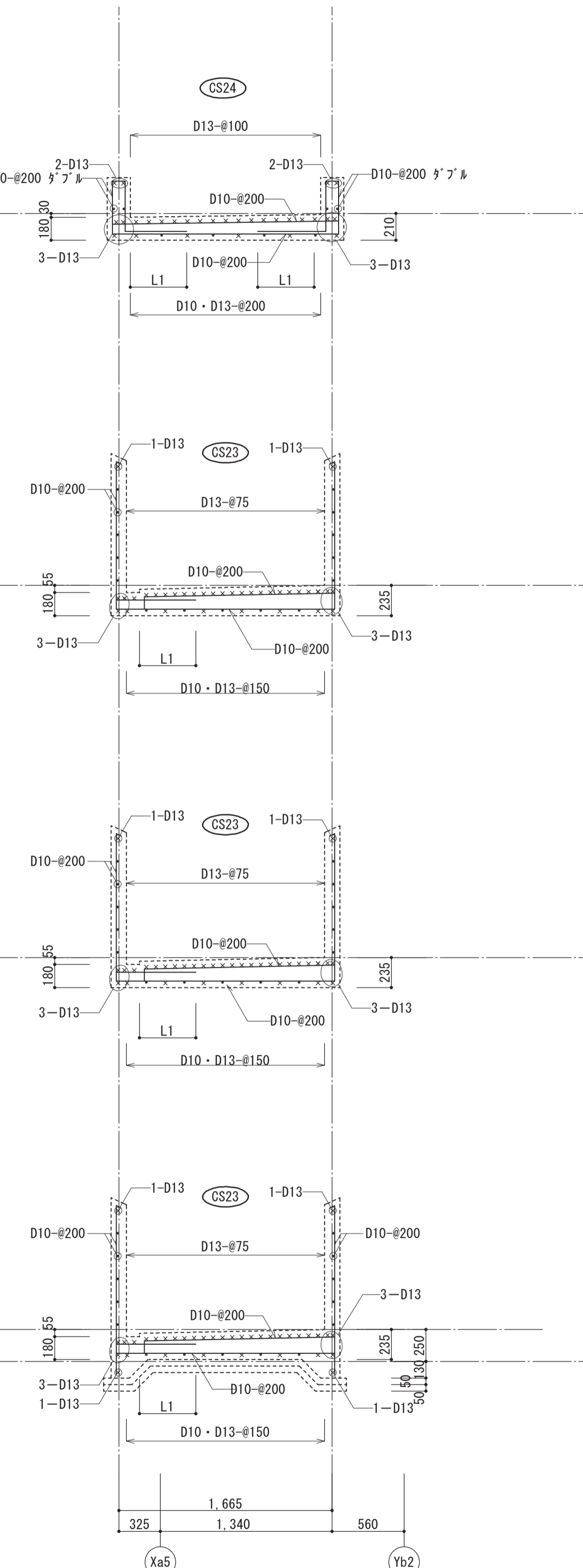
階	クリアランス ※
R	650
14	600
13	550
12	500
11	450
10	400
9	400
8	350
7	300
6	250
5	200
4	150
3	100
2	100
1	50

名称	豊崎第2住宅1号館建設工事	図面番号	N. 230 (枚の内)
図面名称	渡り廊下詳細図	製図	令和元年5月
縮尺	1:30	図面番号	N. 230 (枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 日総建 大阪事務所	





註)・Lcは1,000かつLx/4+15d以上とする。



階	クリアランス ※
R	650
14	600
13	550
12	500
11	450
10	400
9	400
8	350
7	300
6	250
5	200
4	150
3	100
2	100
1	50

名称	豊崎第2住宅1号館建設工事	製図	令和元年5月
図面名称	渡り廊下詳細図	図面番号	N0.230 (枚の内)
縮尺	1:30	設計者	株式会社 日総建 大阪事務所
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)			